

鳥取県の人口動向（令和2年）

- 出生者数は過去最少を更新したが、死亡者数が減少したことから、自然減が緩和。
- 引き続き社会減は続くが、転出数の大幅な減少により、転出超過が改善。転入超過となる世代が増え、都市部から鳥取県への人の流れも生まれている。
- IJU ターンの入居者数は令和元年度に過去最高を記録(2,169人)したが、令和2年度上半期(4～9月)は856人と平成27年度以降では最少となり、前年度同期(984人)に比べ、▲13.0%。
- 引き続き課題となっている若年層(特に15-24歳)の社会減緩和と、ポストコロナの移住者ニーズを踏まえた新しい働き方(テレワーク、副業・兼業)・暮らし方(自然の豊かさ、子育て環境)を支えるきめ細かな支援や強力な情報発信により移住者を拡大していく。

1 自然動態の推移

●出生数が過去最少 ② 3,800人 ← ㊦ 4,013人 ← ㊳ 4,223人 ← ㊹ 4,329人 対元年比 ▲213人

●死亡数が減少 ② 7,110人 ← ㊦ 7,611人 ← ㊳ 7,340人 ← ㊹ 7,550人 対元年比 ▲501人

<自然動態と合計特殊出生率の推移>

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
自然増減数	▲2,122	▲2,031	▲2,254	▲2,488	▲2,544	▲2,638	▲2,916	▲3,221	▲3,117	▲3,598	▲3,310
出生数	4,793	4,971	4,823	4,752	4,548	4,628	4,459	4,329	4,223	4,013	3,800
	前年比	178	▲148	▲71	▲204	80	▲169	▲130	▲106	▲210	▲213
	増減率	3.7	▲3.0	▲1.5	▲4.3	1.8	▲3.7	▲2.9	▲2.4	▲5.0	▲5.3
合計特殊出生率	1.54	1.58	1.57	1.62	1.60	1.65	1.60	1.66	1.61	1.63	-
	前年比	0.04	▲0.01	0.05	▲0.02	0.05	▲0.05	0.06	▲0.05	0.02	-
死亡数	6,915	7,002	7,077	7,240	7,092	7,266	7,375	7,550	7,340	7,611	7,110
	前年比	87	75	163	▲148	174	109	175	▲210	271	▲501
	増減率	1.3	1.1	2.3	▲2.0	2.5	1.5	2.4	▲2.8	3.7	▲6.6

出典：出生数、死亡数…鳥取県統計課「県人口移動調査」、合計特殊出生率…厚生労働省「人口動態統計」

2 社会動態の推移

●転出数の大幅な減少により、転出超過が改善 ② ▲894人 ← ㊦ ▲1,248人 対前年比 354人

●15-24歳の転出超過が全体の転出超過を上回っており、この世代の県外流出に歯止めがかかっていない。

② ▲1,243人 ← ㊦ ▲1,136人 対前年比 ▲107人

●30歳以上については、概ね転入超過となっており、都市部から鳥取県への人の流れも生まれている。

<社会動態の推移>

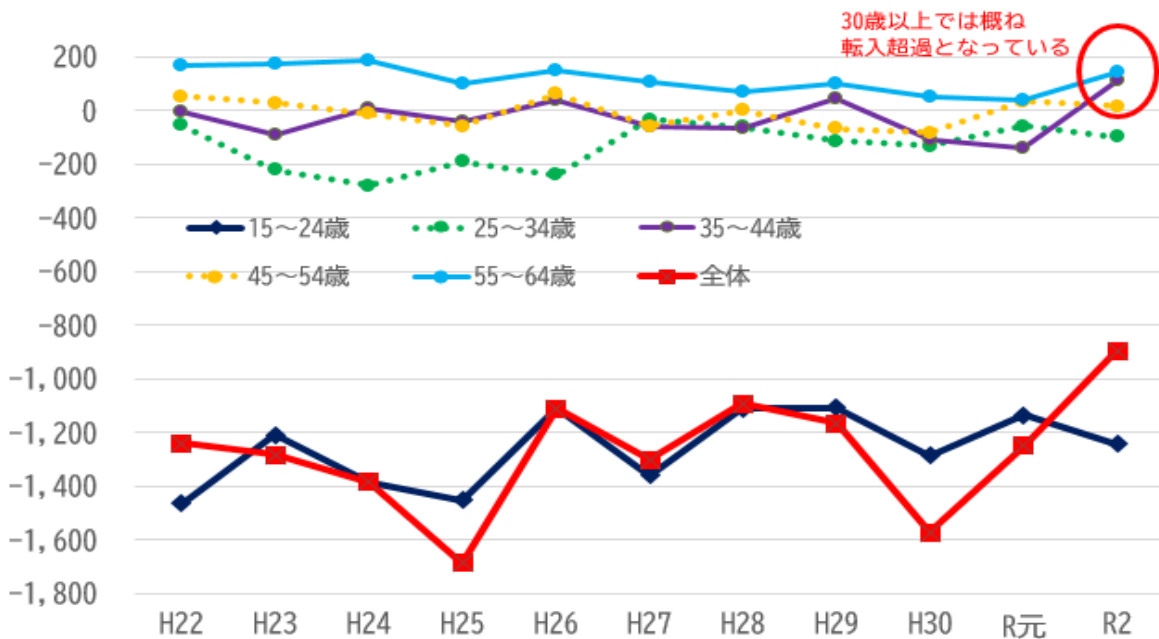
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
社会増減数	▲1,239	▲1,283	▲1,385	▲1,686	▲1,109	▲1,300	▲1,091	▲1,164	▲1,572	▲1,248	▲894
県外からの転入数	10,665	10,635	10,431	10,224	10,485	10,507	10,221	10,094	10,037	10,043	9,375
	前年比	▲30	▲204	▲207	261	22	▲286	▲127	▲57	6	▲668
	増減率	▲0.3	▲1.9	▲2.0	2.6	0.2	▲2.7	▲1.2	▲0.6	0.1	▲6.7
移住者数(年度)	607	504	706	962	1,246	1,952	2,022	2,127	2,157	2,169	上半期856
県外への転出数	11,904	11,918	11,816	11,910	11,594	11,807	11,312	11,258	11,609	11,291	10,269
	前年比	14	▲102	94	▲316	213	▲495	▲54	351	▲318	▲1,022
	増減率	0.1	▲0.9	0.8	▲2.7	1.8	▲4.2	▲0.5	3.1	▲2.7	▲9.1

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
全体	▲ 1,239	▲ 1,283	▲ 1,385	▲ 1,686	▲ 1,109	▲ 1,300	▲ 1,091	▲ 1,164	▲ 1,572	▲ 1,248	▲ 894
15-24歳	▲ 1,464	▲ 1,207	▲ 1,385	▲ 1,453	▲ 1,110	▲ 1,358	▲ 1,109	▲ 1,107	▲ 1,286	▲ 1,136	▲ 1,243
前年比		257	▲ 178	▲ 68	343	▲ 248	249	2	▲ 179	150	▲ 107
転入	2,489	2,583	2,285	2,228	2,352	2,320	2,322	2,460	2,643	2,884	2,579
前年比		94	▲ 298	▲ 57	124	▲ 32	2	138	183	241	▲ 305
転出	3,953	3,790	3,670	3,681	3,462	3,678	3,431	3,567	3,929	4,020	3,822
前年比		▲ 163	▲ 120	11	▲ 219	216	▲ 247	136	362	91	▲ 198
転出超過全体に占める割合	118.2%	94.1%	100.0%	86.2%	100.1%	104.5%	101.6%	95.1%	81.8%	91.0%	139.0%

<若年層の転入転出の状況>

(単位：人)

年齢別転出超過数の推移



出典：鳥取県統計課「県人口移動調査」

<10代・20代の人口推移>

年次	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
全体	591,150	587,772	585,475	581,870	577,642	574,022	573,441	569,579	565,233	560,517	555,664	551,402
10代	58,759	57,495	56,274	55,828	55,003	54,316	52,608	52,945	52,566	51,740	50,794	49,802
20代	56,388	54,941	52,193	50,120	48,264	46,930	48,234	46,156	44,762	43,881	43,536	42,976

出典：鳥取県統計課「鳥取県年齢別推計人口（10月1日現在）」

<参考> 日本の地域別将来推計人口(H30年3月推計)<国立社会保障・人口問題研究所公表>

- 前回推計（H25.3月推計）と比較すると、全世代で人口減少が鈍化している。
- 推計結果が約3万1千人上振れするなど、これまで行ってきた地道な人口減少対策が一定の成果。
 - 今後30年間の人口減少率が改善（今回：△21.8% ← 前回：△25.1%）
 - 全人口に占める年少人口の割合が上昇（今回：11.5% ← 前回：10.5%）

【前回推計と今回推計の比較】

(単位：人、%)

区分	前回推計	今回推計		B-A
	2040年時点	2040年時点	2045年時点	
	社人研(A)	社人研(B)	社人研(C)	
総人口	441,038	472,156	448,529	+31,118
年少人口 (0~14歳)	46,180	54,393	51,497	+8,213
生産年齢人口 (15~64歳)	226,391	240,999	223,463	+14,608
高齢人口 (65歳以上)	168,467	176,767	173,569	+8,300